日本人の国民性とは？

日本人とは他の国と比べて何が違うのでしょう？

思いやりがあって、作業が細かい、冷たい、人見知りなど多種多様な意見があると思いますが、今回が国民性を数字で表したホフステッド指数で日本人の国民性を振り返ってみようと思います。

国民性を知る事で、今後グローバルにビジネスをやって行くと言う人は日本がどう言う国なのか他国の人間に説明が出来ますし、日本で生きて行く、働くと言う事が他国とどう違うのかと言う所を理解する事で、他の国へ移住すると言う選択肢も出てくるでしょうし、何で日本はこうなんだと言う疑問に答えが出るかもしれません。

国民性、文化とは経済が目まぐるしく発展しても、中々、変わる事が無い物です。郷にいては郷に従え、無理に水の流れにあらがうよりも流れに身を任せるのが得策かもしれません。

まずは最初の指数が

**上下関係の強さ**

部活やら会社やらの厳しい上下関係の経験で日本は世界でも有数の上下関係が強い国だとと思いがちかもれませんが、数字として平均的な物です。

欧米諸国から見れば高い数字ですが、中国や韓国などからしたら低い数字です。

上下関係が強いと言うほど、企業において一人の大ボスが居るわけでもなく、上下の階層はあれどそれぞれに中ボスみたいな感じで決裁者が居るので意思決定に常に時間が掛かるのです。

**個人主義の強さ**

出る杭は打たれる、空気を読めと言う事がありながら、この分野でも日本は平均的な数字です。

欧米諸国から見たら集団主義が強いですが、中国や韓国などから見たら個人主義が強いのです。

日本人は企業に心臓を捧げ、御社で骨を埋めますとは言うものの、転職を繰り返すよりも一つの企業に居た方が個人の安定安泰と言う意味では個人に利益があるので、日本人の企業への忠誠心は戯言であり、個人主義の表れなのです。

男らしさを求める強さ

この分野では日本は世界でもトップクラスの数字を叩き出しております。

男らしさは競争する事を意味しており、多少なりの集団主義イムズが混ざり合った事により、日本ではチーム同士の競争を好む傾向があります。

他にも完璧主義や仕事中毒である事もこの分野の特徴です。

女性がビジネスで活躍しずらいと言われるのは、男性と比べて競争心が少ない事が多く、仕事中毒になると家庭が疎かになってしますからでしょう。単純に文化的背景により、女性が働きにくい環境になるのです。

ですから女性の皆様は、ゆっくりと日本が変わるの可能性に賭けて日本で待つか、政治家になってゆっくりと日本を変えるために人生を捧げるか、日本からバックれて環境の揃った他国へ行くか、それとも名ばかりに女性の事を考えた環境を揃えた企業へ行くか、あなた自身が起業をしてそんな環境を作るか、能力やスキルを付けてフリーランスとして、起業に属せず働くかなど様々な方法はあるでしょう。

やはり、覚えて頂きたいのは、いくら経済が目まぐるしく変われど、文化はそう変わるものではないので、あなた自身が動いてあなたが理想とする環境を作り出す事が大事ではないでしょうか？

**不確実性の回避傾向の強さ**

この分野では日本は世界でも高い数字を叩き出しています。

日本人は常に地震や津波などの天災に見舞われてきた事もあり、備えあれば患いなしと言うことわざの如く、不確実な未来をいかに確実に出来るかと言う事をモットーにしている部分があります。

だるい開会式やら卒業式があるのも、常に未来の予測が付くように細かい事まで決まりぎまり決められているのが日本の特徴でもあります。

会社においても、まずは念に念を練ったプランが求められ、細かい所までチェックされる事でしょう。ですから、日本のビジネスがスピードが遅いと言う事が言えるでしょう。慎重に確実に獲物を仕留めるのも良いですが、現代ではスピードが非常に大事ですので、今後ここは変わる必要があるかもしれませんね。

不確実な事を嫌う文化ですから、不確実要素が多い変化が起きる事はそうないでしょう。変わらないとしようとしているものを無理矢理　変える事が相当　難しい事でしょう。

**長期的主義傾向の強さ**

この分野でも日本は世界的に高い数字を叩き出しております。

刹那、人の一生は人の歴史からすればちっぽけで儚い物と言うように、あらがわず諦めて運命を受け入れると言う切なさや儚さと言う日本人ならではの感性がこの国民性から生まれている気がします。

経済が悪化している時も、未来のためにR&Dにお金を割き、大きな社会のために、未来のために投資すると言うのは、長期的主義の強さがゆえんでしょう。

**快楽的か禁欲的か**

この分野では低い数字を叩き出しております。

禁止事項が多かったり、抑制的な部分が社会で多いのがこの分野の特徴です。この分野が低い国は悲観的で皮肉が多い事で知られていますが、まさに日本人の自虐がこの分野を象徴しているのではないでしょうか？

禁欲的で、何か自分の楽しみのために何かをする事は社会的に間違ってはいるのではないか？と考えてしまう傾向があります。苦労して、忍耐があってと言う風潮が強いのも国民性が理由と言えるでしょう。

これが日本です。日本人とがこう言う傾向が強い国民です。この分野が上手く反響しあったからこそ、今の安定した日本がきっとあるのでしょうし、これからも確実に繁栄して行く国だと私は信じています。

最後に、日本を変えたい！とは言って川の流れにあらがい、儚く散りゆくよりも、自ら新たな川を作ってみてはいかがでしょうか？

自分の儚い夢を未来に託すのか、それとも生きている間に描く理想郷を作り出すのか、どちらが良いのでしょうかね…